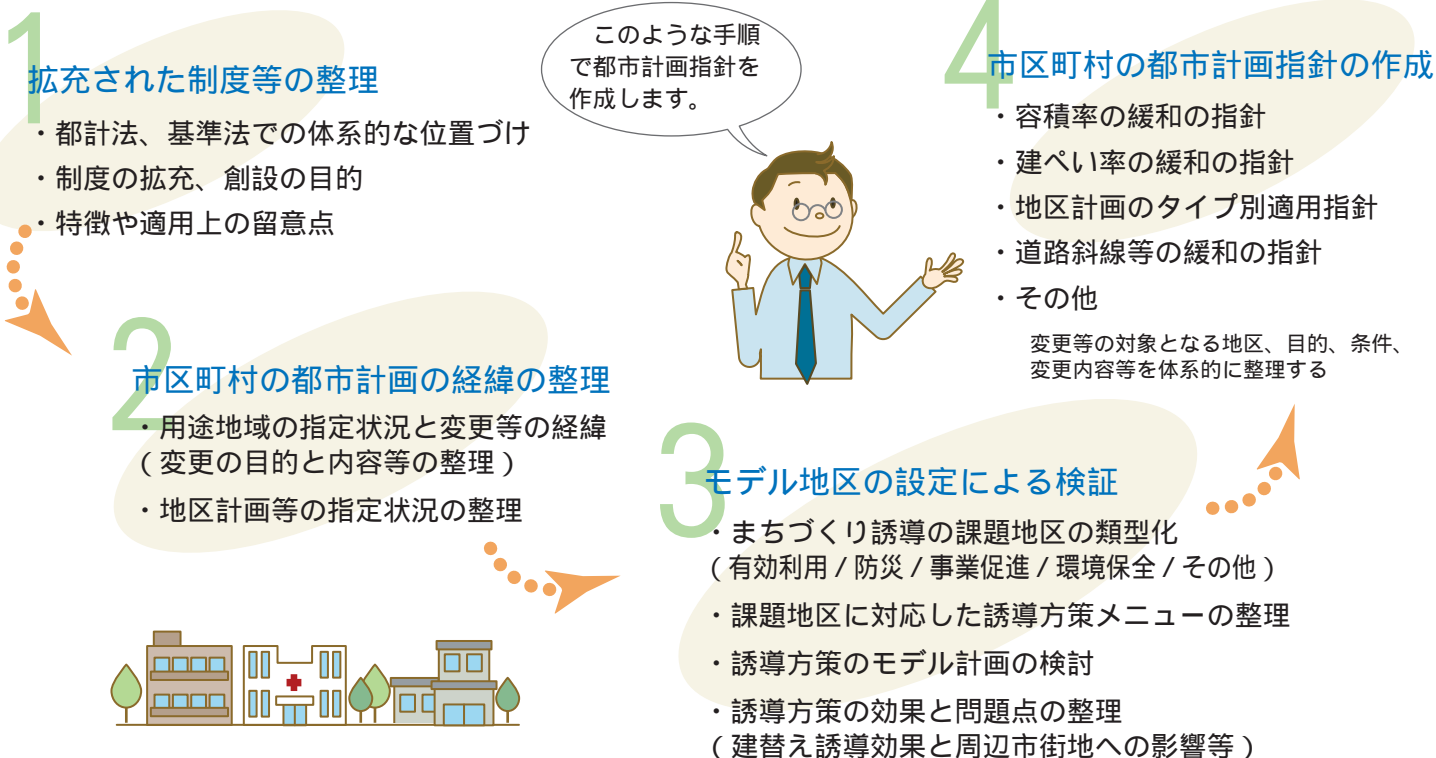


■ 多様化したまちづくり誘導方策のメニューや選択肢に対応した、体系的な指針づくりを提案します

拡充された制度を活用していくためには、都市計画の全体的な整合性を図る必要があります。そのために、次のような調査により、市区町村としての独自の都市計画指針を作成していくことを提案します。

このような指針を作成しておくことで、住民等による都市計画の提案に対して、適切に対応していくことが可能となります。



■ まちづくり課題地区に対して、効果的な制度適用を提案します

これまでの調査計画により、課題が明確となっていながら、具体的な事業や整備に結びつかない地区も多くあります。このような地区では、早急に課題解消のための施策が必要であり、次のような検討を提案します。

